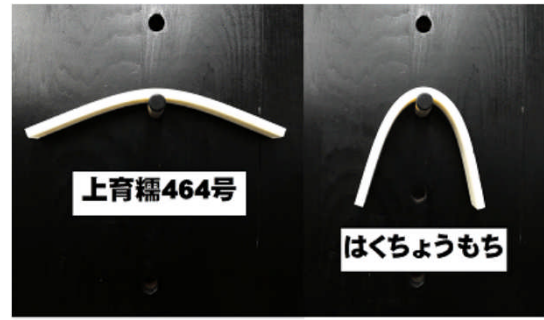
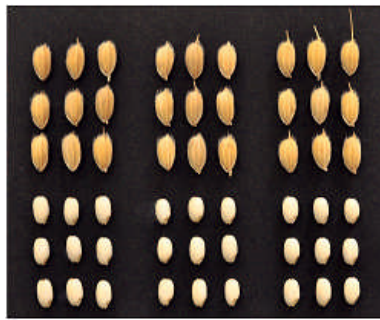


● 新 品 種

■ おモチも米チェン！ もち米新品種「上育糯464号」



もち硬化性の比較
硬化性が高く、切り餅などの加工に適しています。

「上育糯464号」の草本（左）、籾及び玄米（中）
左：「上育糯464号」 中：「しろくまもち」 右：「はくちょうもち」

■ 良く太り、よくとれる！ながいも新品種「十勝4号」



「十勝4号」のいもの形状（左）、胴部切断面（上）
左：「音更選抜」 中央：「十勝4号」 右：「川西選抜」

■ 長期貯蔵後でもキレイに揚がる！ ポテトチップス用馬鈴しょ新品種「北育15号」



「北育15号」の6
月・6℃貯蔵後の
ポテトチップス
左上：「北育15号」
左下：「トヨシロ」
右上：「スノーデン」



「北育15号」の草姿、花、塊茎

● 新 技 術

■ 7月まで大丈夫！エチレンガスを用いたポテトチップス用馬鈴しょの貯蔵技術



エチレン処理により萌芽が抑制され、チップカラーも良好です。

エチレン貯蔵後の萌芽状況とチップカラー（スノーデン 5月下旬）
（上：無処理 下：エチレン4ppm処理 貯蔵温度8℃）

■ 雪割りで土を凍らせ野良イモ退治 ～冬の作業で大幅な省力化を実現～



野良イモが発生した小豆畑



雪割り実施風景



雪割り実施後の畑

■ 秋まき小麦・後作緑肥導入によるたまねぎ畑の土づくり



収穫時の粘質たまねぎ圃場の地面の様子
粘質たまねぎ畑の収穫時の地面に亀裂は見られません。

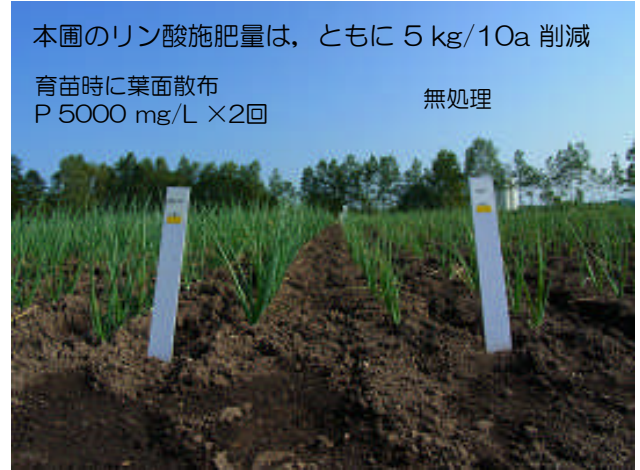


収穫時の粘質たまねぎ畑における秋まき小麦導入圃場の亀裂の様子
一方、秋まき小麦を導入すると、収穫時の地面に深い亀裂が発達します。

■ 有機物等を使い畑作物・野菜のリン酸が減肥できます

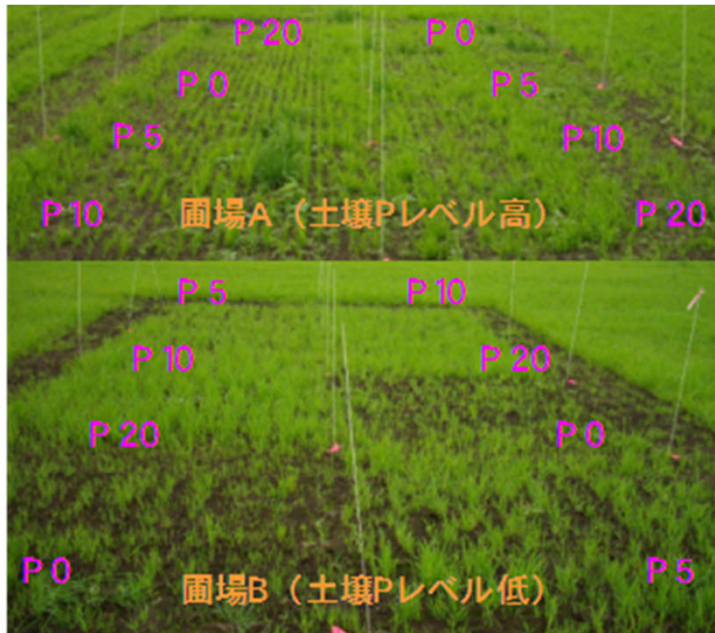


育苗時にリン酸増肥したキャベツは、定植時の施肥を削減できます。



育苗後期の葉面散布がたまねぎ初期生育を促進

■ 草地更新のコストを最大25%削減！

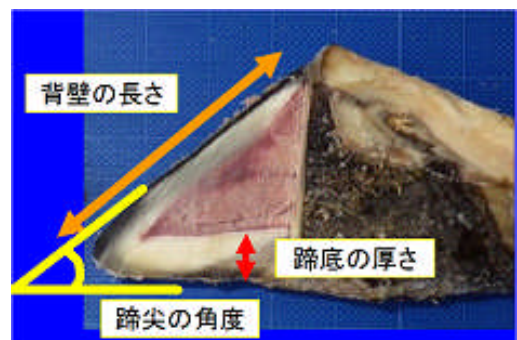


草地更新時における施肥・播種作業風景
播種した牧草種子の定着にはリン酸の適正な施用が重要です。

リン酸施肥による牧草の初期生育の差
写真中の数字は、リン酸施肥量 (kg/10a)

土壌リン酸レベルの高い圃場Aでは、施肥量の違いによる生育の差はほとんどありませんが、同レベルの低い圃場Bでは、生育に大きな差がみられます。

■ 酪農家が自分でできる牛のつめ切り方法

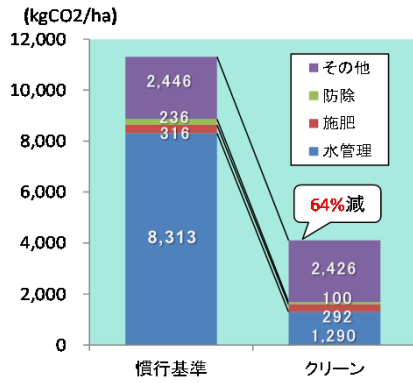


蹄を解剖した様子

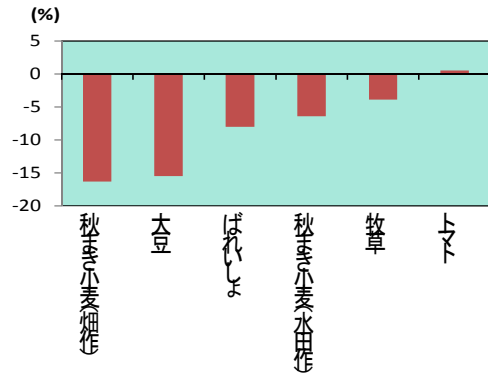


「削蹄テキスト」は根釧農業試験場ホームページからダウンロードできます。

■ クリーン農業技術導入による温暖化ガス排出量の変化



水稲における温暖化ガス排出量の変化



各作物における温暖化ガス排出量の変化

● 現地普及活動事例

■ ばれいしょ「スノーマーチ」の食卓までの道程 ～低温貯蔵で美味しく変化～



低温熟成により、美味しさを引き出してから食卓へ



「スノーマーチのうた」をつくるなど、生産者によるPR活動が盛んに行われています。



常温貯蔵 4～5℃ 1～2℃
(出庫後23日目)

貯蔵温度によっても、萌芽時期が異なります。

■ 新タイプかぼちゃの省力的多収栽培技術の確立



ほっとけ栗たん（左）とえびす（右）の初期生育の違い

短節間かぼちゃ「TC2A」
(商品名:「ほっとけ栗たん」)



「ほっとけ栗たん」(左)と「えびす」(右)の初期生育の違い



機械移植実演会の様子